

赤潮プランクトン情報（第24報）

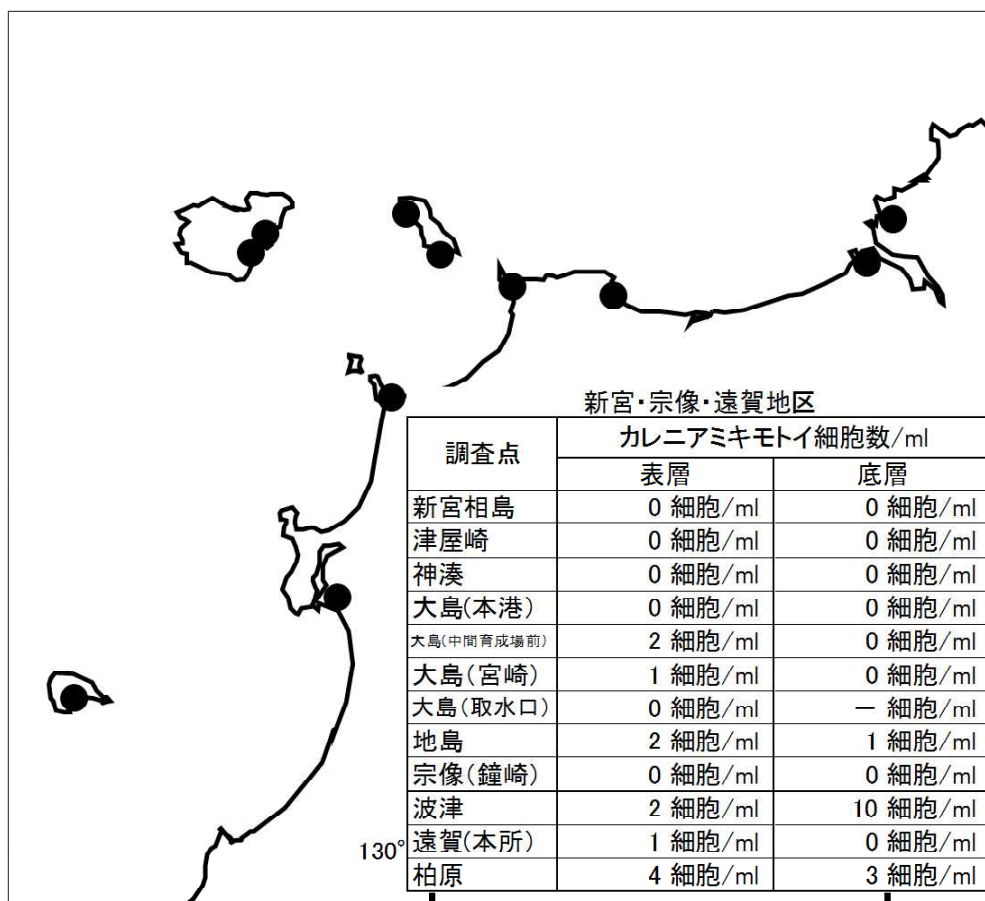
福岡県水産海洋技術センター

平成27年8月12日

平成27年8月12日に県内の漁港で調査を実施したところ、魚介類に有害なプランクトン（カレニア ミキモトイ）が引き続き発生しており、減少傾向にあるものの増加しているところもみられます。

カレニア ミキモトイは表層で着色が見られなくても中・底層でも高密度に増殖する可能性があります。魚類や貝類は蓄養せずに出荷するなど十分に注意して下さい。

*カレニア・ミキモトイは魚介類に有害で、特にアワビ、サザエは数10細胞/mlでもへい死することもあります。魚類は100細胞を超えると注意が必要で、500細胞/mlを越えるとへい死することもあります（イケマ内でも活力の低下や斃死することもあります）。



漁場でアワビが弱ったり、海水が着色していた場合などは当センターへ至急連絡願います。また被害状況は随時、情報を収集しますので組合で集約しておいてください。

連絡先 福岡県水産海洋技術センター
研究部 資源環境課 秋本・恵崎・杉野・里道・片山
092-806-0884